

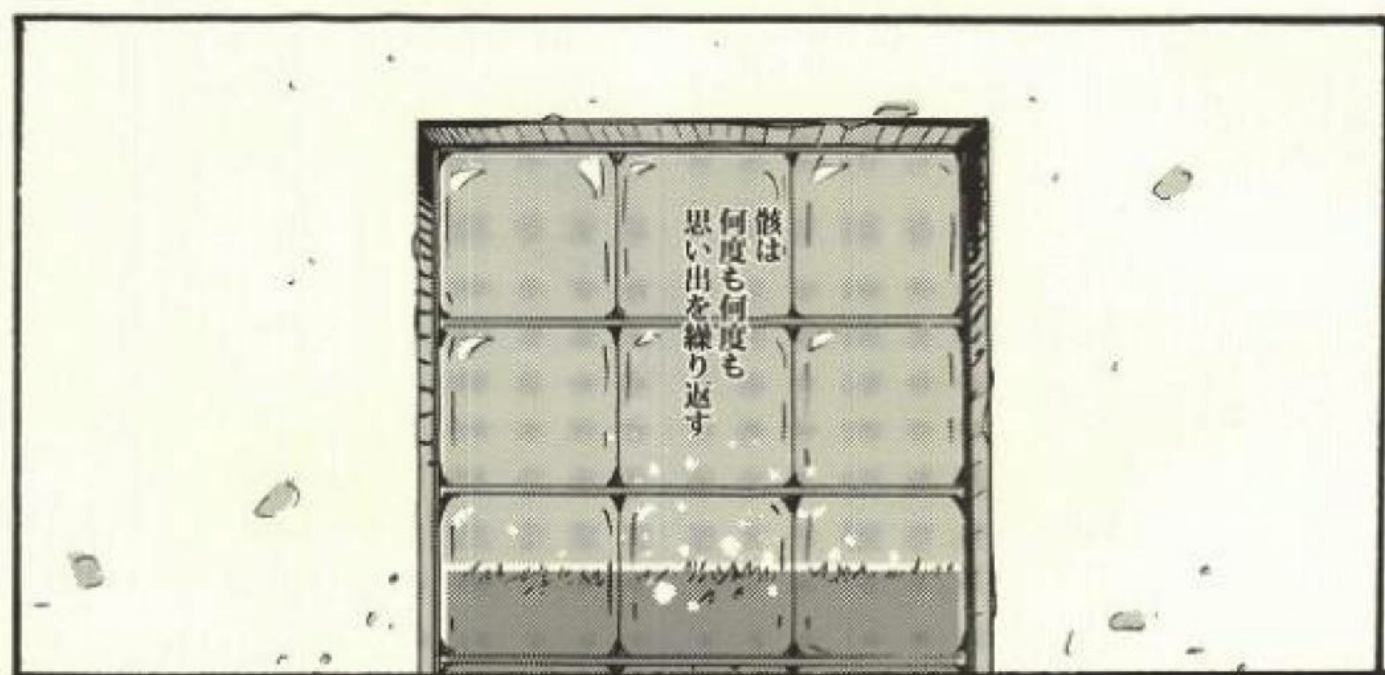
暗い
ベッドで
みる夢は

SENSUS COMMUNIS
REBORN! FAN BOOK





思い出は
いつだって
骸に力を与えてくれた

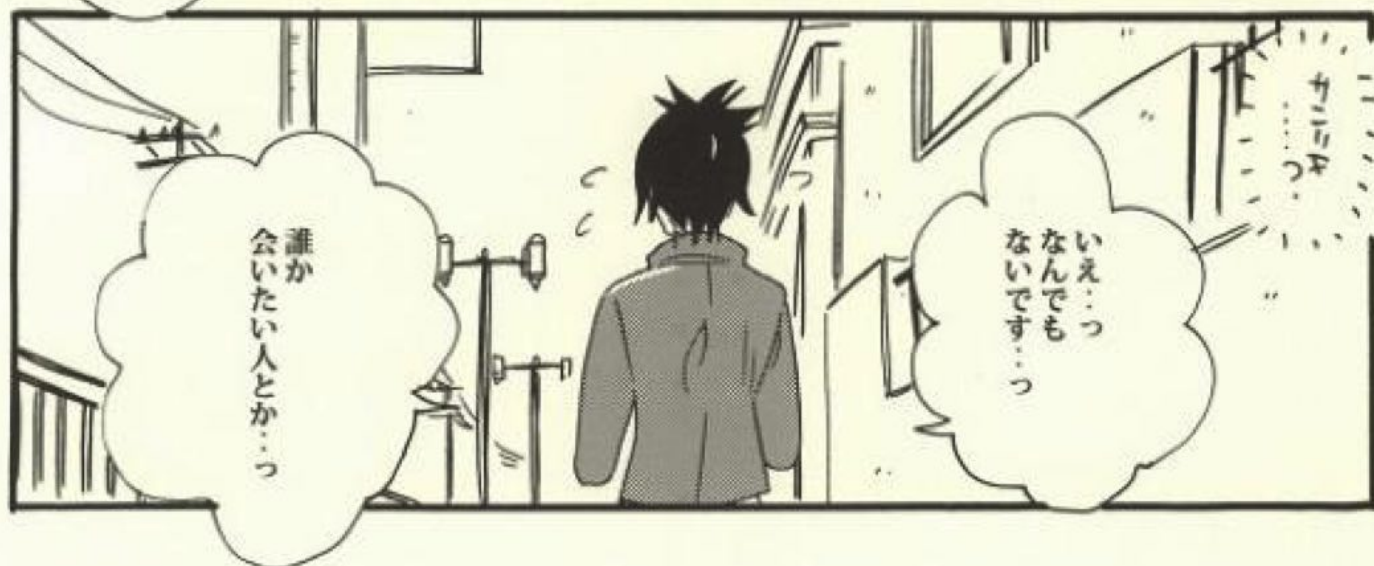




行きたい場所とか
ありませんか

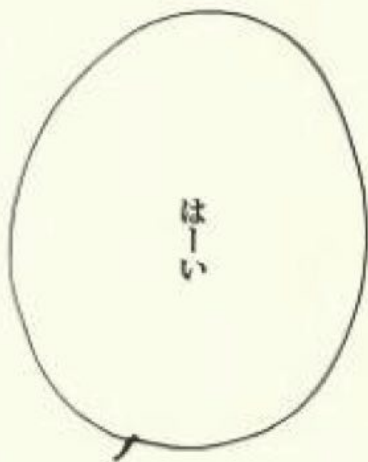
行きたいところ…？

…サンリオ
ピューロランドとか！



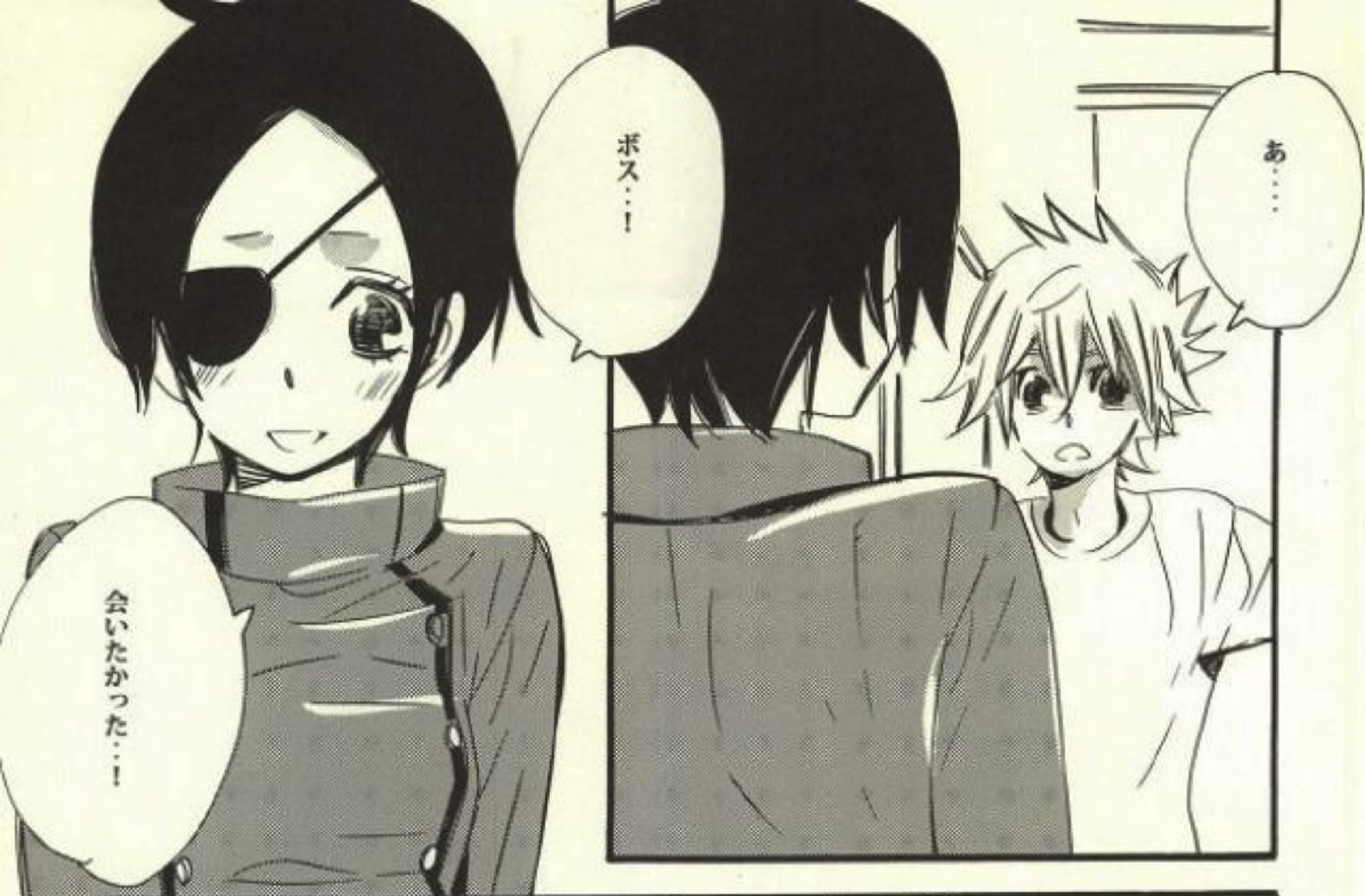
いえ…っ
なんでも
ないです…っ

誰か
会いたい人とか…っ



はい

はい…っ



少し
簡単すぎ
ましたかね

誰か他の人間に
入ってくるべき
だったかな

…二度と…!

俺の友達の中に
入ったりするな…!

絶対に
許さないからな…!

ハイハイ！

うざいなあ
殺しちゃいますかあ

ええっ
駄目ですよ
骸様！

それで…！

今
お前は
どこに
いるんだよ…！

喉の

…痛くなんて
ありませんよ

あ……

痛い思いは
してないの……

詰まったような
声

麻酔採用のある
溶液浸けです

何も見えません
何も聞こえません

体は動かないので
何も表現できません



何だよ……!



誰かに
触れる事も
できません



ねえ
こうしましょう

僕は
君の仲間に
二度と入らない
…その代わりに

大人しい
子犬のような
少年だ



KOFATU……
お邪魔
しましょう

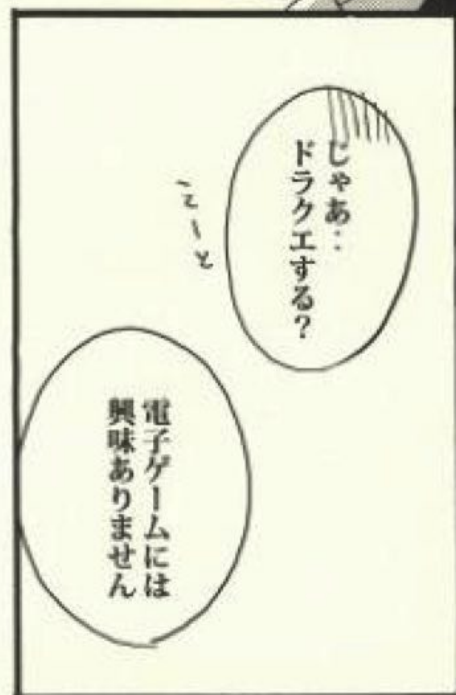


あ……
よかったら
こたつ入る？



や……
約束守れよ

今日二日
つきあったら
二度と昔の中に
入ったりしないって……



じゃあ……
ドラクエする？

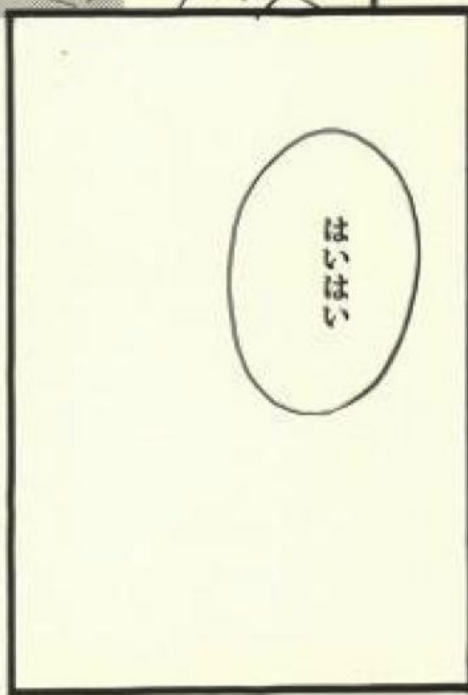
……と

電子ゲームには
興味ありません

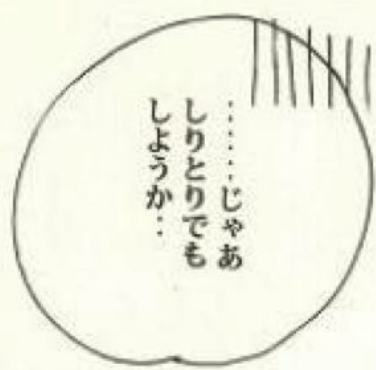
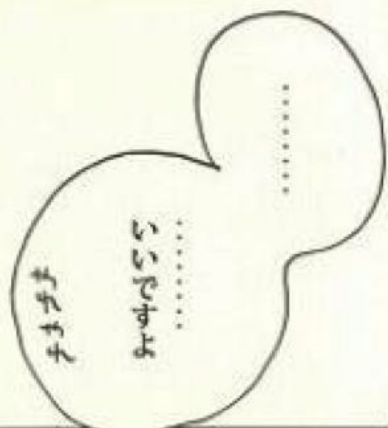


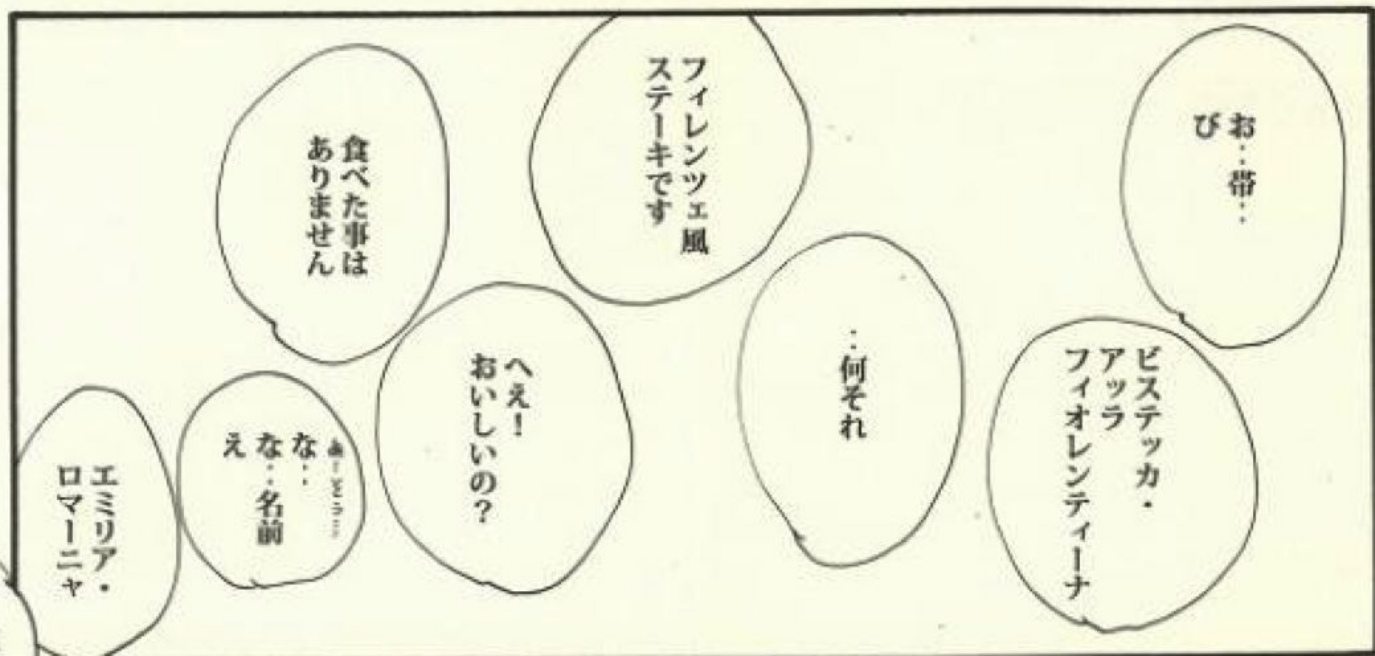
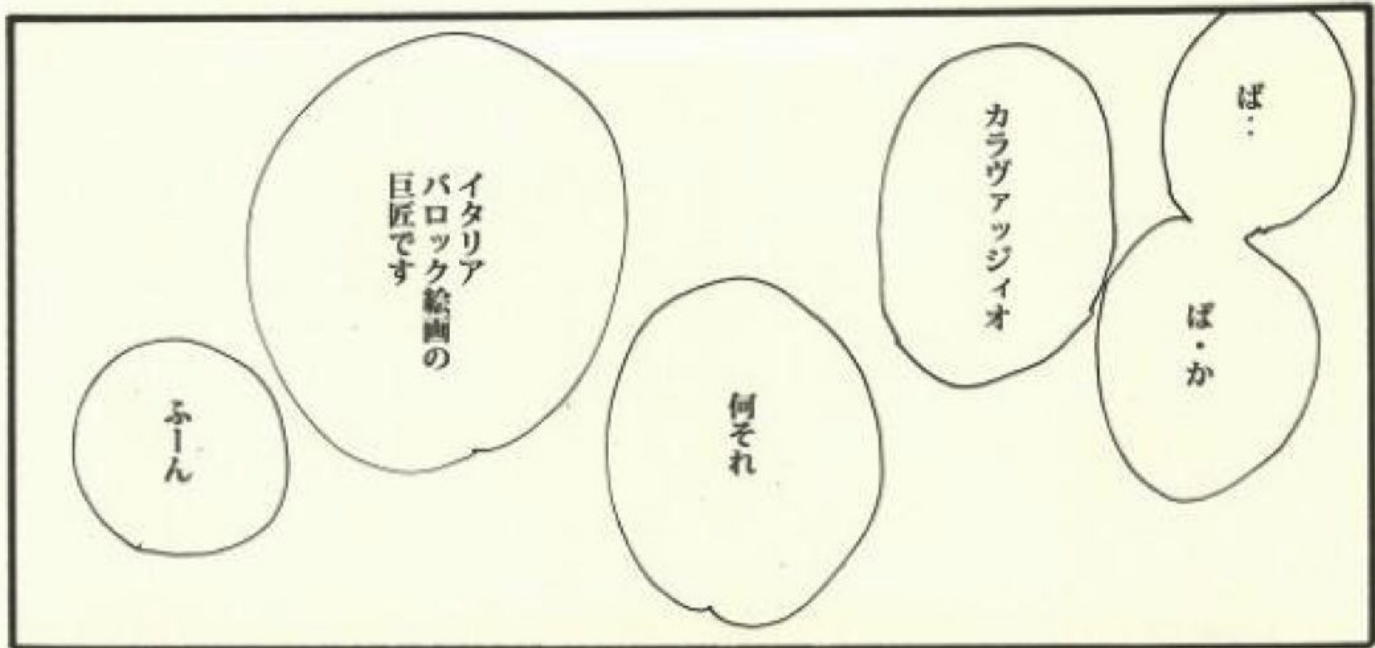
いいえ

……
駄って何か
できないこと
とかあるの？



はいはい







.....
?

..そうかあ..

.....



忘れてませんよ
失礼な

忘れんなよ!

ああ...
こくよう

こ...
こ...

猫ね..
ね..

.....

.....



千種!

う..海..

道..

..とらないで
ください
ただでさえ
手駒が少ないん
ですから

サ・サルデーニャ

ヴェネツィア

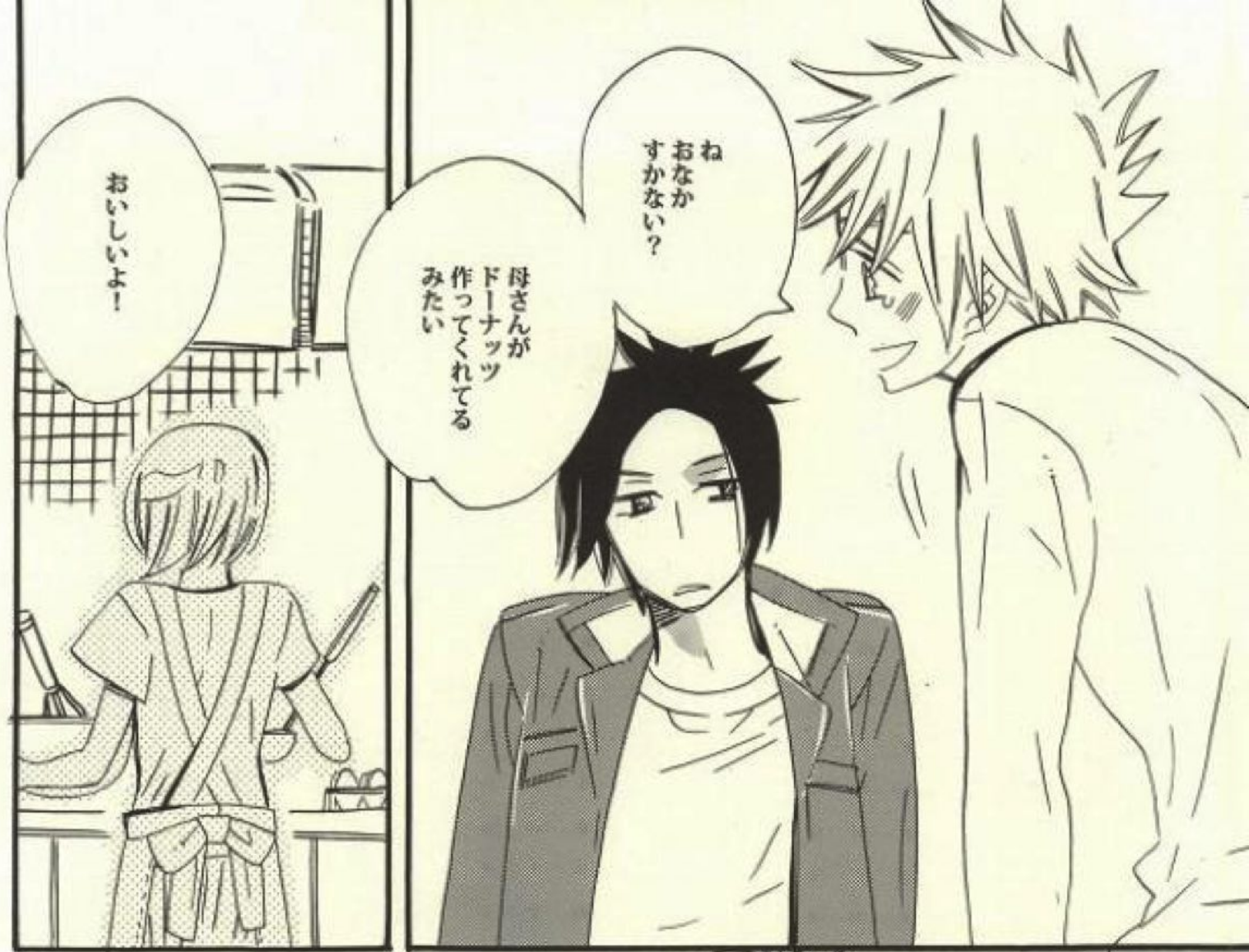
野球・

あ・あ・
有明

犬！

……
あ……





おごしごよー

ね
おなか
すかない？

母さんが
ドーナッツ
作ってくれてる
みたい



做って！
食べれるの？

……



…食べれます



ちょっと
待っててね

じゃあ
さっさとー

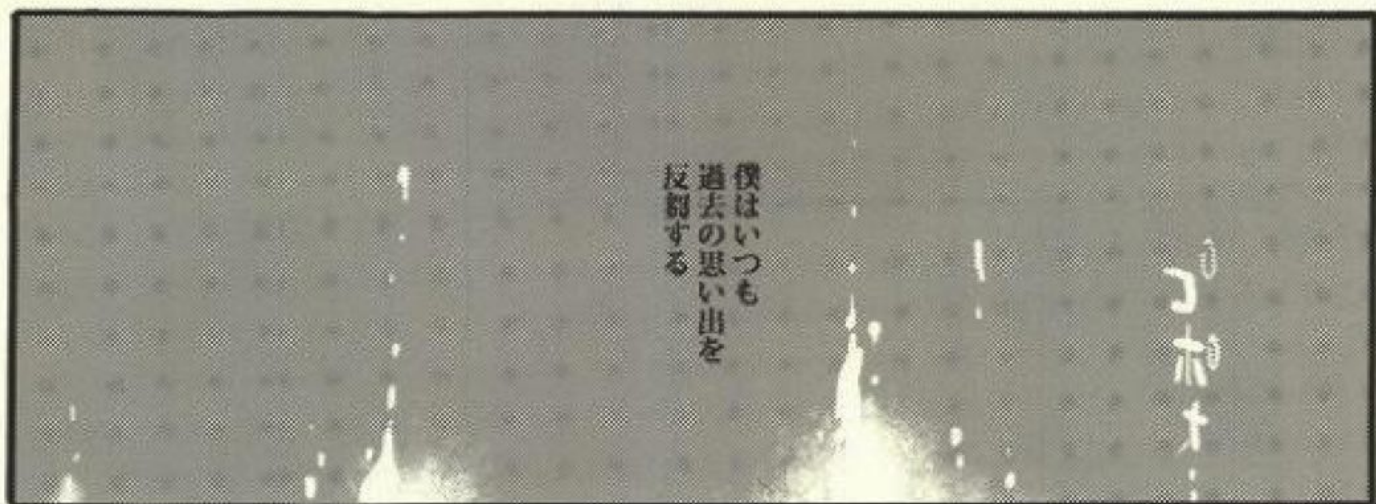


そろそろ
限界のようです...

食べられますが

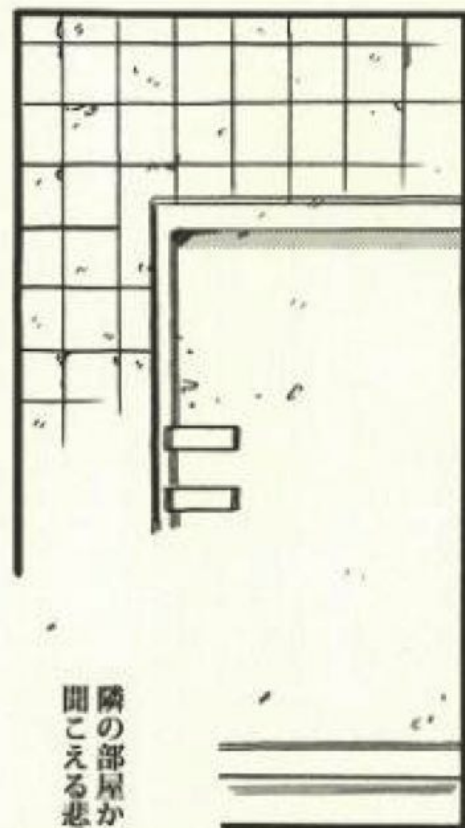






僕はいつも
過去の思い出を
反芻する

うほお...



隣の部屋から
聞こえる悲鳴



痛かった事



小さい頃の記憶

犬の悲鳴：

燃えるような
怒り



そして
この少年との
戦い





..やあ



わー
壊れかけの
テレビみたく
なってるー！

倅：
大丈夫？

ええ…

どうやら
時間切れの
ようです




またくるの？

…安心して
ください


そうたびたびは
無理です
よかったですね…



おいでよ…！



今度は
皆も
呼んでおくよ！



今度はもっと…

楽しい事をしよう…！

お祭り行ったりとか…
遊園地行ったりとか…！



もっと…



骸…



もっと
楽しい事…!

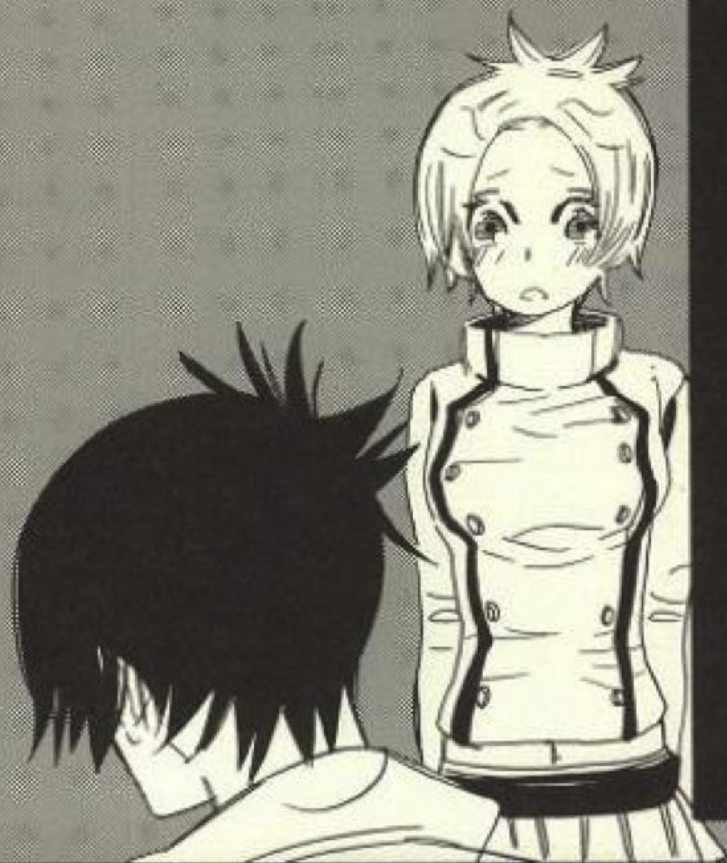


だから
また…

おいだよ…!

今日だって
十分……

楽しかった
ですよ



もう
いいんですか…?
もうちょっとなら…

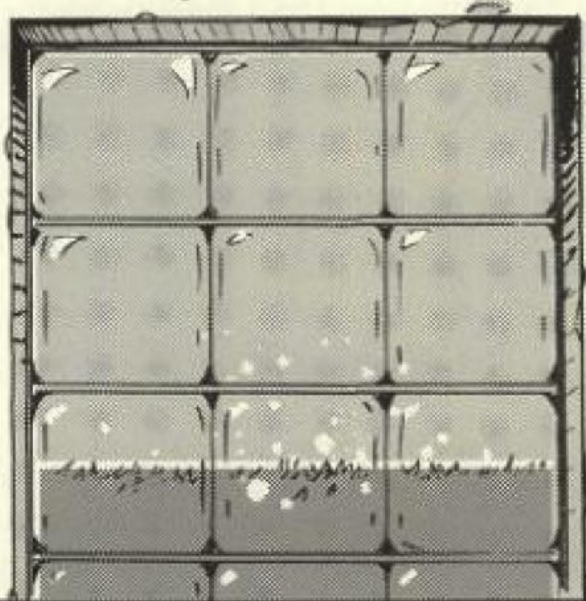


彼様…



彼様…

「オレ」
「オレ」

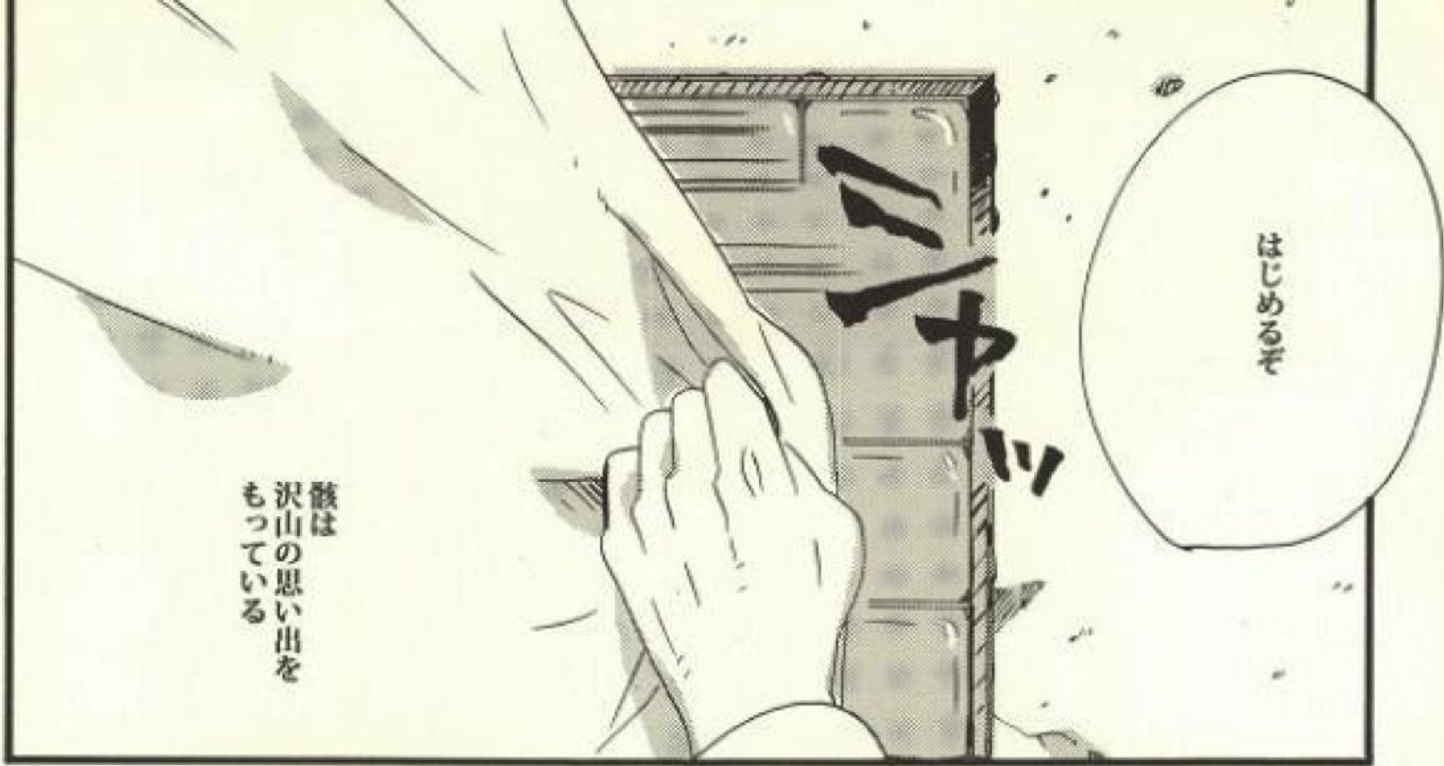


輸血の準備は？

ギン

3000ml
用意しました

よし



骸は
沢山の思い出を
もっている



だが、
「楽しい」
思い出は
これが
はじめてだった

この新しい
思い出は

骸に
不安をもたらした

骸は
この思い出を
忘れたくないと

はじめて思った

忘れたくないと
いうことは
死にたくない
ということだった

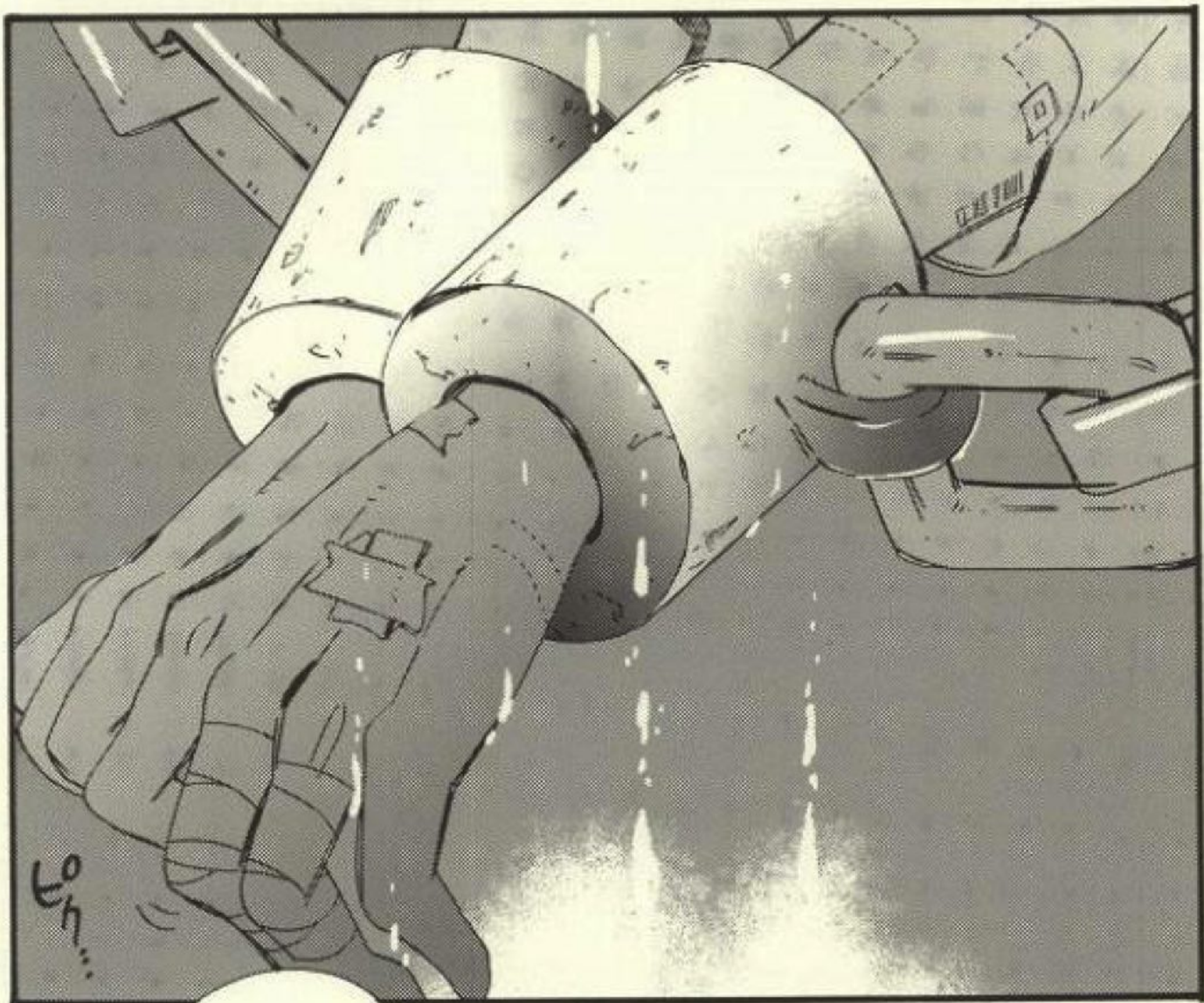
「おらでよ……」

「もっと
楽しい事を
しよう……！」

骸は不安だった

骸は
居心地が悪かった

そしてそれも
骸がはじめて感じる
感情だった



被験者は？



はい
異常ありません。

end.

暗いベッドでみる夢は